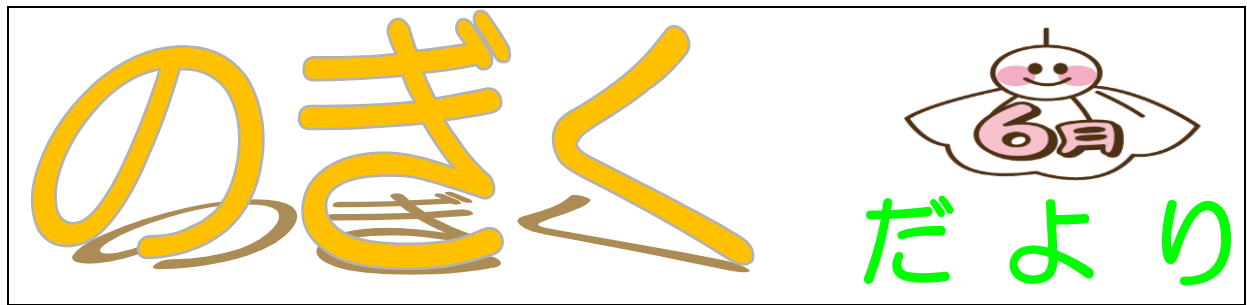


♥ 『 元気な笑顔 』 と 『 心で感じるあたたかさ 』 ♥



さわやかな初夏を迎えました。6月と10月の1日は衣替え。この日から冬服に衣服を着替えます。

着替えにまつわる行事『涼殿祭（すすみどのまつり）』、聞いたことありますか？

島根県の出雲大社では、麻地の白い祭服（さいふく）に着替えした宮司（ぐうじ）らが、出雲森（いずもり）から御手洗井（みたらい）まで敷かれた白砂（はくさ）と真子菰（まこも）の上を歩き祈願する『涼殿祭』が行われます。

これは、大国主命（おおくにぬしのみこと）が衣替えをし、出雲森で涼（りょう）を取ったという言い伝えにちなんでおり、敷かれた麻菰を持ち帰ると、夏の間病気にからなくなるといわれています。

また、湿気も気になる時期、お部屋も快適に衣替えしたいですね。湿気といえば雨ですが、梅雨は日本独特の気候で春から夏への季節の変わり目に毎年やってくる雨期のことです。6月11日、入梅（にゅうばい）。梅雨（つゆ）に入るころを指し、この日から約30日間が梅雨の期間とされています。天気予報のない時代、梅雨が始まる時期を知っておくのはとても重要なことでした。

梅雨前線の影響を受けにくい北海道には、梅雨がありません。しかし、6月中旬～下旬ごろまでの北海道太平洋側では、雨が多く降ったり、湿度が上がる現象が起り、これを『蝦夷梅雨（えぞつゆ）』と呼びます。

梅雨には、以下のようなさまざまな別名があります。

- ・長 雨（ながあめ）：長期間、降り続けることから
- ・麦 雨（ばくう）：麦の実が熟すころに振ることから
- ・水取雨（みずとりあめ）：田に稲を植えるために必要な雨であることから
- ・青梅雨（あおつゆ）：青梅がなるころに振ることから
- ・栗花落（ついでり）：雨で栗の花が落ちてしまうことから



ご利用者様との話題が広がる“雑学・豆知識”いかがだったでしょうか(*^_^*)
梅雨冷えの日もありますので、ぐれぐれもご自愛ください。

【 のぎくのコンセプト 】

“ひととひと” “ころところ”をつなぐ

『住み慣れた地域で安心していつまでも暮らしたい』という高齢者やご家族を支え、また、『自ら利用したくなるようなデイサービス事業の展開』し、地域に必要な不可欠な存在になるよう頑張っていきます。

*** “ のぎくの風景 ” ***



ねらえ！“10点！！”



『話しかけないでね(笑)』『集中！』『ここだったら、大丈夫！』『集中！』



実習生と記念撮影



“うまくできました”



織染めのあじさいづくりです。



“スイーツバイキング” 手作りです♪



*** ボランティア “ ななえ工房 ” ***

月1回来苑していただき、ご利用者様と一緒に作品を制作しています。今回は“金太郎の壁掛け”を作成しました。



“ ななえ工房 ” のみなさん、いつもありがとうございます。

*** “ 今月の誕生会 ” ***
 今月の誕生者のみなさま、おめでとうございます(*^_^*)



信濃屋ふさえ様 高坂 浩様 田村ツヤ子様 石田 キン様 菊田 健悦様 魚住 敏和様

皆さんいつも笑顔が素敵です。いつまでも元気いっぱい笑顔を振りまいて周りを明るくして下さい。
 これからものぎくにきて、楽しい時間をすごしましょう。



♡ のぎく職員一同より ♡

